



2024年7月19日

各位

会社名 株式会社ヤマザキ  
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎好和  
(コード番号: 6147 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役上席執行役員総務部長 今場浩和  
電話番号 053-433-1200

## 中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、昨今の経営環境の変化により2023年11月10日に公表した中期経営計画(2024年3月期~2026年3月期)を修正し、新たに中期経営計画(2025年3月期~2027年3月期)を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 中期経営計画の修正について

(単位: 百万円)

	修正前			修正後			
	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (新計画)	2026年 3月期 (新計画)	2027年 3月期 (新計画)
売上高	2,890	3,150	3,400	2,496	3,000	3,200	3,400
営業利益	30	208	284	△97	50	70	100
経常利益	25	180	280	△86	30	50	80

### 2. 修正の理由

当社は、2023年11月10日に公表した中期経営計画(2024年3月期~2026年3月期)の達成に向け積極的に取り組んでまいりましたが、当社を取り巻く環境は予想以上に厳しく、中期計画初年度である2024年3月期は、売上高及び営業利益、経常利益ともに大幅な未達(売上高2,496百万円、営業利益△97百万円、経常利益△86百万円)となりました。

こうした状況を踏まえ、あらためて数値目標を精査し、昨年公表した中期計画を修正して、新たに2025年3月期から始まる3年間の中期経営計画(2025年3月期~2027年3月期)を策定いたしました。

### 3. 事業別重点施策

#### 【工作機械事業】

- ・省力省人化 設備受託 推進
  - ≫物流や生産工程の自動化対応システムの開発、製造、販売
    - > ㈱山田製作所, ㈱ナガセインテグレックスとの業務提携推進
  - ≫環境対策設備 拡充
    - > 作業者を悪環境からの解放する技術開発(前項の自動化対応と関連)
    - > SDC(Super Deburr' Center: 密閉型無人ロボットバリ取りシステム)のシリーズ化と拡販

- ・アフターマーケットへの積極展開
  - ≫コアであるユニット技術の実績を生かし、他社製品の改造・オーバーホール・レトロフィットの積極受注
  - ≫合弁会社HYテクノロジーズにより(株)ホーコスと連携中
- ・「MMSのヤマザキ」
  - ≫MMS (Machines Manufacturing Service : ユニット&マシンの相手先ブランドによる供給)
  - ≫「ユニットのヤマザキ」復活 (新旧, 他 業界へのユニットの用途・技術開発)
    - >汎用工作機械メーカー向け MMS やユニット開発と供給
    - >半導体製造・ロボティクス装置メーカー向け MMS やユニット開発と供給
    - >自動車業界のEV化に対応する“新コンセプト専用工作機械”向け MMS ユニットの開発と供給
- ・人件費や原材料価格の高騰に伴う価格是正強化
  - ≫販売価格の適正化
  - ≫高い技術力と実績に基づく差別化により価格競争からの離脱を目指す

#### 【輸送用機器事業】

- ・販路拡大 (クライアント多角化)
  - ≫二輪車用部品中心から「四輪車用部品」、「半導体製造装置部品」及び「EV用部品」への展開
  - ≫国内サイトでは、新規に四輪輸送用機器部品の納入開始  
(2022年2月より納入を開始。今年4月以降4ラインを2直体制にて生産中)
- ・商品拡充
  - ≫従来取引先からの新規部品の取込
  - ≫商品の(前後や材料)工程の取込とトータルの品質保証によりクライアントの利便性確保
- ・人件費や原材料・エネルギーコストの高騰への対応
  - ≫価格是正強化：販売価格の見直し (一部実施済み)
  - ≫業務改善 (DX化) によるコスト低減

#### 【工作機械事業及び輸送用機器事業】

- ・経費削減
  - ≫販管費削減
    - >DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進による効率化
  - ≫時間外労働ゼロへ
  - ≫外国人労働者の活用 (企業内転勤, 高度人材)
- ・生産体制の見直し
  - ≫製造における社内, 社外製 工程及び比率の見直し
  - ≫高付加価値工程 (仕上~超仕上) の完全内製化
  - ≫超精密仕上設備の導入と内製化
    - >2024年5月に超精密門型成形平面研削盤配備

#### 【新たな事業展開】

- ・半導体製造装置の製造販売
  - ≫本社サイトにクリーンルームを設置し、2024年5月より生産開始。(2024年7月現在：増産計画有)
- ・環境ソリューションビジネスを展開開始
  - ≫アンテナ工場として富士工場 (静岡県富士市) 開設。(2024年7月現在：水処理プラント設備を受注製造中)
  - ≫マイクロバブルによる洗浄能力や溶存酸素濃度改善効果を生かした商品の開発

【海外市場】

・アジア市場へ積極展開

≫ベトナム現地法人を起点としアジア市場で

>精機：アフターマーケットを中心に展開を目指す

>量産部品：専用工作機械の提供で培った生産技術力を生かし、新規部品の受注を目指す  
(新たな輸送用機器部品の納入開始 2024 年 11 月～)

>ベトナム国外（FTA 地域）への販路拡大を目指す

以 上